



## 平成の御造営

# 宗像大社社殿御修復ご奉賛のお願い



宗像大社は古界灘の孤島

沖ノ島、陸地には近い筑前大島、内陸の玄海町田島

に、沖津宮・中津宮・辺津宮がそれぞれ鎮座し、天照大御神の御子神である宗像三柱大神をお祭りする、極めて尊い御由緒をもつ日本最古の社の一つであります。

その高い御神格は、古くから「裏伊勢」と称され、伊勢の神宮に次ぐ名社とし、朝野の厚い崇敬を集め、入っていった當時の問題

古の改新後九州では唯一の「神都」に列せられまし

た。宗像大社を奉廟する神社は全国で六千余社に及び、また弁財天として名高い市杵島姫神を祭る弁天宮の總本宮としても知られています。

宗像大社の境域は、三

宮共に国の史跡に指定され、社殿も貴重な木造建築物と

して国・県の重要な文化財に

指定されています。

創建以来長い年月の間、各時代の氏子・崇敬者の人々

が心を込めて御修理にあた

り今日に至っておりますが、

傷みが進み、早急な修復

の要が迫っています。

このたび文化局及び福岡

市公にその史跡に指定され、

また、毎年秋の御修復事務を行

うこととなりました。

（未完）

天正十八年（一五九〇）  
平成七年夏より六ヶ月間  
小早川隆景造営  
こけら葺屋根葺き替え修理  
（切り妻入り造りこけら葺き）

工事期間

修理概要

本殿の外回り柱、

回廊大床の修理塗装

（計）

修理概要

本殿の大床修理塗装

（計）





